

病害虫発生予察情報

5月月報

平成18年6月20日
東京都病害虫防除所

1 気象概況

2006年 5月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平年比		平年比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	23.0	1.3	11.9	-0.3	17.3	0.4	15	47	55.9	120
中旬	21.3	-0.8	14.6	1.5	17.6	0.1	52	105	17.3	43
下旬	24.6	0.9	15.8	1.3	19.7	0.7	94	261	54.3	107
平均	23.0	0.5	14.2	0.9	18.2	0.4				
合計							161	137	127.5	93

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979~2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上旬は平年並であったが、中旬はかなり低く、下旬はやや低かった。

降 水 量：上・中は少なく、下旬は非常に多かった。

日照時間：上・下旬はやや多く、中旬はほぼ平年並であった。

<天候概況>

上旬：期間の前半は高気圧に覆われ晴れたが2日は寒冷前線が通過したため雷雨になった。後半は低気圧がゆっくり通過したため雨や霧雨になった。

中旬：ほんしゅうの南に前線が停滞したため曇りや雨の日が多くなった。

下旬：移動性高気圧と低気圧が交互に通過したため、天気は周期的に変わった。

2 作物生育概況

(1) イネ

苗床においては、上旬までは若干の生育遅延がみられたが、中旬以降、ほぼ例年並の生育に回復した。苗の質にもとくに問題はみられない。定植時期についても、ほぼ例年並で早いところで5月20日ごろからの定植となった。多くは6月上中旬の定植見込みであるが、こちらもほぼ例年並とみられる。

(2) サツマイモ

苗床での生育は例年並。苗質もとくに問題はみられない。定植は多くの産地で例年通り下旬からの定植となった。土壌も比較的湿潤であるため、活着状況も良好である。

(3) 野 菜 類

果菜類等：施設のトマトはほぼ順調であるが、キュウリでは日照不足の影響で徒長、障害果の発生、べと病等の発生などで作柄は不良である。露地栽培のトマト、キュウリ、ナス等では日照不足の影響で全体的にやや生育が遅れている。スイートコーン、エダマメは概ね順調な生育であった。

葉菜類：施設および露地のコマツナ、ホウレンソウは日照不足の影響で生育はやや遅れている。一部では葉色が薄く、やや徒長ぎみの生育を示した。キャベツは1週間程度の生育遅れがみられる。

(4) 果樹

ブドウ：農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるブドウ‘高尾’の開花期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

開花始，満開ともに平年よりも5～6日遅れた。

開花始 6/2（+6日），満開 6/4（+5日）

カキ：農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるカキ主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

各品種において開花始，満開とも平年よりも4～6日遅れた。

東京紅：開花始 5/26（+6日），満開 5/28（+6日）

次郎：開花始 5/26（+5日），満開 5/29（+5日）

松本早生：開花始 5/29（+4日），満開 5/31（+4日）

(5) 茶 樹

平年より10日から2週間程遅れての摘採となっている。今年は寒干害の影響で収量が約2割程少ない。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

イネミズゾウムシ < 少 > 発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナ シ

赤星病 < 少 > 発生園でも発病葉率は2%、発病度は0.5程度で発生は少なかった。

黒星病 < 少 > 発生は少なかった。

アブラムシ類 < 並 > 発生は平年並であった。

カメムシ類 < 多 > 発生は多かった。

ハマキムシ類 < やや少 > 発生はやや少なかった。

カ キ

カキクダアザミウマ < 少 > 発生は少なかった。

キウイフルーツ

キウイヒメヨコバイ < 並 > 発生は平年並であった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ < 少 > 発生は少なかった。

チャノコカクモンハマキ < やや少 > 発生はやや少なかった。

チャハマキ < 少 > 発生は少なかった。

チャノホソガ < やや少 > 発生はやや少なかった。

(4) 野菜の病害虫

ジャガイモ

疫病 < 少 > 発生は少なかった。

ニジュウヤホシテントウ < 少 > 発生は少なかった。

トマト（施設）		
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< やや少 >	全体的には発生はやや少なかったが、長期どりの一部で中旬以降やや多かった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
白ぶくれ症	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
キュウリ		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< 多 >	発生は各地とも多く、多発圃場では発病葉率 77% 発病度 34 に達した。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナス		
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	一部でやや多く発生したが、全体的には少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ		
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギ		
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
キャベツ		
菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウガ	< 少 >	発生は少なかった。
モンシロチョウ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ネキリムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

(5)花きの病害虫

キ ク

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

キクスイカミキリ < 並 > 発生は平年並であった。

アザミウマ類 < やや少 > 発生はやや少なかった。

花き共通の病害虫

灰色かび病 < やや少 > 発生はやや少なかった。

(6) 植木の病害虫

ツバキ・サザンカ

チャドクガ < 少 > 発生は少なかった。

ツツジ

ツツジゲンバウムシ < やや少 > 発生はやや少なかった。

(7)島しょの病害虫

大島：一部地域でクワゴマダラヒトリ幼虫の発生が多かった。

八丈島：野菜類でカタツムリ類、サンダーソニアでアザミウマ類の発生が多かった。

小笠原諸島：ハスモンヨトウおよびコナガの発生が多かった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	5月9日	6月6日	0	0
大田市場	5月9日	6月6日	0	0
板橋市場	5月9日	6月7日	0	0
淀橋市場	5月9日	6月7日	0	0
青梅青果市場	5月10日	6月8日	0	0
福生青果市場	5月10日	6月8日	0	0
八王子北野市場	5月10日	6月8日	0	0
多摩ニュータウン市場	5月10日	6月8日	0	0
三鷹市場	5月11日	6月9日	0	0
東久留米市場	5月11日	6月9日	0	0

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報，発生状況，防除方法
などをお知らせしています。